

健保ニュース

2023
APRIL 4

令和5年度 予算のお知らせ

当組合の令和5年度予算と事業計画が、先日開催された組合会において可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

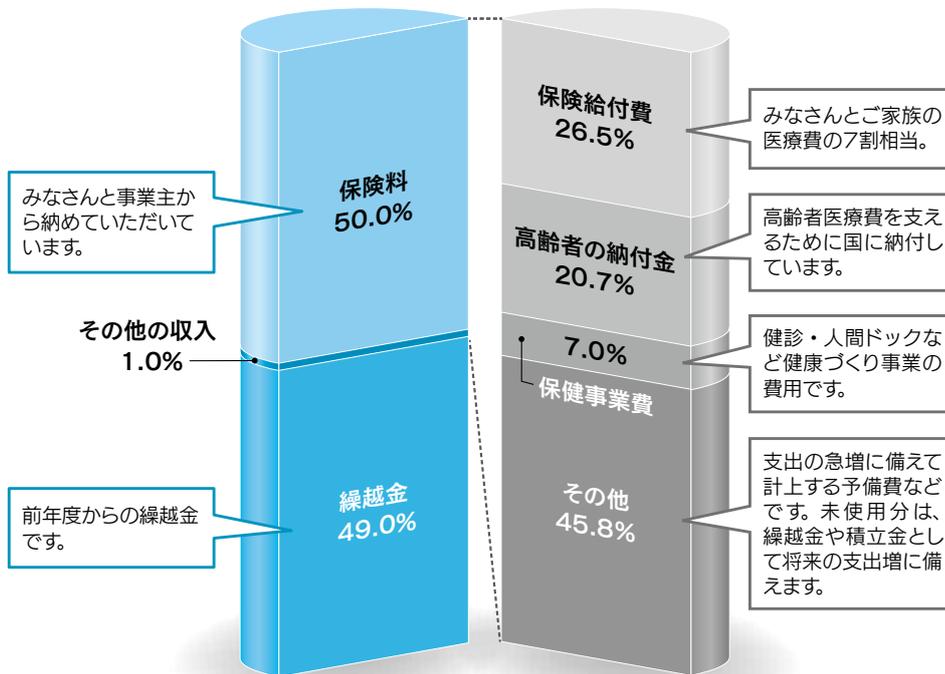


令和5年度 収入支出予算の概要

一般勘定

収入 88 億円

支出 88 億円



予算算出の基礎数値 (一般勘定)

- 被保険者数
計 9,874 人
〔男 8,437 人〕
〔女 1,437 人〕
- 平均標準報酬月額
326,432 円
〔男 344,364 円〕
〔女 218,368 円〕
- 総標準賞与額 (年間合計)
5,980,319 千円
- 平均年齢
42.40 歳
〔男 43.09 歳〕
〔女 38.34 歳〕
- 被扶養者数
7,291 人
- 扶養率
0.73 人



令和5年度 収入支出予算の概要

介護勘定

収入

科目	予算割合
介護保険収入	60.2 (%)
繰越金	39.7
雑収入	0.0
一般勘定受入	0.1
合計	100.0

支出

科目	予算割合
介護納付金	53.2 (%)
介護保険料還付金	0.0
一般勘定繰入	0.1
予備費	46.7
合計	100.0

予算算出の基礎数値 (介護勘定)

- 第2号被保険者数
9,994 人
- 上記のうち被保険者数
6,256 人
- 平均標準報酬月額
349,772 円

●保険料率は据え置きます

	令和5年度		
	被保険者	事業主	合計
健康保険料率	50.10 (%)	50.10 (%)	100.20 (%)
介護保険料率	9.75	9.75	19.50



4月から、 出産育児一時金が 引き上げられました



～ 2023.3

1児につき

42万円

※被保険者と被扶養者、いずれの出産の場合も支給されます。

2023.4～

1児につき

50万円

正常な出産は病気でないため、健康保険が使えません。代わりに健保組合は、出産育児一時金を支給しています。2023年度から、政府の少子化対策強化の一環として出産育児一時金が42万円から50万円に引き上げられました。出産育児一時金は1994年に創設され、出産費用の増加に伴いたびたび引き上げられてきましたが、8万円の引き上げは過去最大幅となります。



対象になる 出産とは？

A 妊娠4カ月以上（13週以上）の出産をい、早産、死産、流産なども含まれます。なお、帝王切開分娩など、医師による治療行為が発生する場合は健康保険が適用されます。

受け取り 方法は？

A 医療機関と代理契約合意文書を交わす「直接支払制度」の利用が一般的です。健保組合が医療機関に出産育児一時金を直接支払いますので、申請の必要はありません。

出産費用は いくら？

A 正常な出産は健康保険が適用されないため、医療機関によって異なるのが実情です。厚生労働省では、2024年4月を目途に医療機関ごとの出産費用を公表する仕組みをつくる予定です。

出産育児一時金50万円のうち、1.2万円は産科医療補償制度（出産に関連して重度脳性麻痺となった場合に補償金を支給する制度）の掛金です。このため、直接支払制度で出産費用が48.8万円を下回った場合は差額を受け取れます。この場合は健保組合に申請してください。

健康保険組合 事務所移転のお知らせ

移転日 令和5年2月9日

新住所 〒720-0061 広島県福山市丸之内二丁目8-20-302

TEL 084-924-2012 FAX 084-924-9748 ※電話番号、FAX番号は変更ありません。